

租 税 法

(Tax Law)

3 学期 木曜 7・8 時限
授業時間：75 分×20 回
単位数：2 単位
履修年次：2 年次

担当教員：大野雅人
研 究 室：大塚校舎 515 号室

授業の到達目標：

- ・ 租税実体法（所得税法、法人税法等）及び租税手続法（租税争訟法等）について、法曹として活動するために必要と思われる基本原理及び重要項目を会得させる。

授業概要：

- ・ 租税実体法については、所得税法と法人税法を中心に、主要裁判例及びそれらをめぐる学説を題材として、租税法の基本原則及び課税所得計算の基本原理について講義する。また、租税手続法については、租税確定手続、租税徴収手続、租税争訟手続、租税犯則取締手続等について、裁判例を題材に講義する。

評価方法：

- ・ 筆記試験 80%・授業の態度 20%

教科書等：

- ・ 金子宏ほか編著『ケースブック租税法（第 3 版）』（2011 年、弘文堂）
- ・ 国税通則法、所得税法、法人税法等が掲載されている六法（law.e-gov.go.jp からダウンロードしたものでも可）により、関係条文を適宜参照すること。

参 考 書：

- ・ 金子宏『租税法（第 16 版）』（2011 年、弘文堂）、水野忠恒『租税法（第 5 版）』（2011 年、有斐閣）、谷口勢津夫『税法基本講義（第 2 版）』（2010 年、弘文堂）、岡村忠生ほか『ベーシック税法（第 6 版）』（2011 年、有斐閣アルマ）
- ・ 水野忠恒ほか編『租税判例百選（第 4 版）』（2005 年、有斐閣）

授業計画：

第 1 週（第 1・2 回）	租税法の基礎理論（租税法と憲法、租税法律主義等）
第 2 週（第 3・4 回）	所得税法Ⅰ（所得税の基礎、利子・配当・譲渡所得）
第 3 週（第 5・6 回）	所得税法Ⅱ（給与・退職・事業所得等）
第 4 週（第 7・8 回）	所得税法Ⅲ（所得計算と帰属年度、所得税額の計算）
第 5 週（第 9・10 回）	法人税法Ⅰ（法人税の基礎、法人所得の意義と計算）
第 6 週（第 11・12 回）	法人税法Ⅱ（益金の意義、損金の意義）
第 7 週（第 13・14 回）	法人税法Ⅲ（所得計算各論、連結納税、グループ法人税制）
第 8 週（第 15・16 回）	相続税法（相続税、贈与税）
第 9 週（第 17・18 回）	租税手続法（国税通則法、国税徴収法）
第 10 週（第 19・20 回）	租税争訟法・租税処罰法（租税不服申立・訴訟、査察）